

第12回 江戸東京きらりプロジェクト推進委員会

~江戸東京の技・伝統をつなぐ、広げる~

令和3年2月10日~2月19日

ポストコロナを見据えた令和3年度の事業展開

- (1) 新しい時代に向けて
- (2) 国内における展開
- (3) 欧米市場に向けたブランド訴求
- (4) 中国マーケットへのアプローチ

(1)新しい時代に向けて

~本プロジェクトの意義~

(第11回委員会での意見を踏まえ改変)

〇エコ・アート・伝統が織成す、豊かな「衣・食・住」を提案

- ・ライフスタイルが見直され、サスティナビリティへの意識が高 まる中、伝統が持つ意味を改めて考える
- ・ステイホームで、身近な生活を彩る「本当にいいもの」の価値、 歴史・ストーリーを改めて伝える



〇明るい未来を切り拓く

- 新たな取組に果敢にチャレンジする 事業者に希望あるメッセージを発信
- ・変革に向けた新しいビジネスの プラットフォームに

TOKYO CIRARI O都民に共感いただく

・江戸、東京と続いてきた 伝統・技・文化を深く知り 愛着と誇りを感じてもらう

(2) 国内における展開

◆展覧会イベントによる更なるブランド発信

- ▶「伝統×革新」のプロジェクトのコンセプトをより効果的に訴求するため、展覧会形式のイベントを開催
- ▶ 取組を進化させ、リアルでの体験や販売機会などを充実
- ◆様々な媒体による積極的な情報発信を継続
 - ▶ 雑誌記事での紹介、東京スポーツスクエアでの体験イベントなどの情報発信の取組を引き続き展開
- ◆伝統産業分野のネットワークの形成・拡大
 - ▶ 伝統産業の分野横断的なネットワーク活動を促進、民間からの提案による意欲ある取組を支援
 - ▶ 江戸の文化や生活、老舗の歴史などを深く伝えるセミナーやワークショップを通して、きらりプロジェクトの新たな顧客 層獲得や次代の担い手育成につなげる。

(3) 欧米市場に向けたブランド訴求 ①

- ◆越境ECサイトによる販売拡大
- ▶ 今年度立ち上げた販売の仕組みの範囲・機能を拡充
- ▶ 欧州(仏・英)で確立したモデルケースを、他市場に展開し、
 - 一元的な運用による効果的なPR、効率的な販売を目指す

【今年度の取組】

【来年度の展開】

 イギリス、フランス
 PDCAによる継続進化

 モデルケースを確立
 中国向けECの統合

 水米地域に向けた
 展開可能性の検討

(3) 欧米市場に向けたブランド訴求 ②

- ◆フランスのデザイナーとの共同制作プロジェクト
 - ▶ パリ市との間で事業連携協定を締結
 - ▶ 来年度から3か年にわたり、現地デザイナーときらりモデル事業者との「交流」「創造」「発信」に関する活動を推進
 - ➤ リモートを活用した技術交流や共同開発を展開
 - ▶ 成果を東京⇔パリの相互で発信





「Les Atelier de Paris」 パリ市立のデザイン産業イン キュベーション施設。毎年厳し いセレクションをクリアしたプロ のデザイナーが30~40名所属







(4) 中国マーケットへのアプローチ

- ◆中国人富裕層への重点的なプロモーション
 - ▶ 富裕層のニーズ調査をもとに、インノアウト両面から展開

インバウンド 展 開 都内**老舗を巡る**上質・特別な「東京滞在 体験ツアー」を企画、実施を目指す

アウトバウンド 展開

商業施設などでの現地イベントなどを検討

- ◆SNSを活用した積極的な情報発信
 - **中国人インフルエンサー**をPRに 引き続き起用し、独自の視点から 「東京の宝」の魅力を**発信**
 - ※今年度の投稿動画では、合計65万件 の視聴を獲得



参考

令和2年度の取組

- (1) 令和2年度選定モデル事業の紹介
- (2) コロナ禍におけるプロモーション

令和2年度選定モデル事業の紹介 ①

江戸より続く技術とオリジナルのデザイン による『竺仙テキスタイル』の発信

株式会社竺仙(中央区)

- 天保13年(1842年)の創業以来、 染めの技術を磨き、こだわりの生地と オリジナルのデザインによる小紋、浴 衣を製作・販売
- ▶ 現代の日常にも使える新しい商品アイ テムを構築し、着物・浴衣のみに留ま らない「**竺仙テキスタイル**」として国 内外へ発信







令和2年度選定モデル事業の紹介

『節句文化』の再定義とその魅力の国内外への 発信

株式会社松崎人形(足立区)

- ▶江戸の町民文化の中で栄えた「 戸木目込人形」と「江戸節句人 形」の技術を継承、「ひな人形」 「五月人形」に加え、ライフスタ イルの変化に合わせた新しい人形 の製造・販売
- ▶人形製造の技術を継承・進化、現 代の「新しい節句」の形を提案し、 その魅力を発信





令和2年度選定モデル事業の紹介 ③

江戸東京の大衆生活に根差した文化・注染文化の啓発と普及

有限会社丸久商店(中央区)

- ▶創業以来「新江戸染」の屋号で、「注染」という日本独自の型染め 技法を用いた手拭、浴衣、半纏な どを企画、販売
- ▶ 染色作家や織職人、染工場等と協働し、新たな分野の商品展開などを通して、染色、和装文化の魅力を発信、可能性を拡げていく。







令和2年度選定モデル事業の紹介 ④

森を創る太鼓:東京の森林資源と工芸技術を活かした、豊かな循環型社会の提案

株式会社宮本卯之助商店(台東区)

- ▶ 1861年に太鼓店として創業し、 祭礼用品、和楽器の製造・販売の ほか、和太鼓スクールや普及活動 を世界規模で展開
- ▶「東京の木」による和楽器の商品開発とその過程の発信を通して、 環境とものづくり双方への関心を高め、循環型社会のあり方を提案









令和2年度選定モデル事業の紹介 ⑤

『江戸木目金(もくめがね)』の技による 唯一 無二の結婚指輪を海外へ展開

株式会社杢目金屋(渋谷区)

- ▶ 刀装具の制作技術として生まれ、 江戸時代の鐔工(つばこう)により完成された金属工芸「木目金」 を応用したジュエリーを製造
- ▶ユーザー参加型の商品開発を通して技術を発展的に継承。工房のショールーム化や他業種との協働により「Made in Tokyo」のジュエリーブランドとして世界へ発信。





(2) コロナ禍におけるプロモーション ①

- ◆展覧会イベント「江戸東京リシンク展」 のオンライン開催(3/3~3/31)
- ▶「現代アート×伝統産業」による新たな価値を伝える展覧会をオンラインで発信
- ▶ 舘鼻則孝氏のディレクションのもと、 モデル事業者とのコラボによるアート作 品や、伝統の技に関わる歴史的資料な どを公開
- ▶ 和敬塾(旧細川侯爵邸)を活用した展示装飾で「過去・現在・未来の往来」を演出
- ▶ あわせて、オンラインワークショップ開催や、コンセプトブックを発行







(2) コロナ禍におけるプロモーション ②

- ◆欧米市場向けの越境ECサイトの構築(3月~)
- ▶ オンライン上でプロジェクト全体のブランドプロモーションと EC販売を一元的に行うデジタルプラットフォームを立上げ
- ▶ まずは、イギリス、フランスを先行市場に定め、市場ごとに ブランド発信や販売のためのインターフェースを最適化
- ▶ サイト立ち上げに合わせ、現地メディアとのタイアッププロモーションを実施

